STSD株式会社

writeWired Web DX Suite

製品カタログ

用途と機能の目次

本書は、公開中の製品情報への目次です。すべての項目に個別のURLがあり、本書内のリンクから直接開けます。

生成日：2026年8月25日（生成日が版を兼ねます）

1 用途で探す /solutions/

あなたのWeb運用に近いものからお読みください。各ページに、問答・導入事例・機能リファレンスへの導線があります。

体制と分担

多拠点企業サイトの構築
拠点の更新を、拠点に返す
/solutions/branch/

グループ企業サイトの構築
各社で更新。本部で統制
/solutions/group/

多ブランドサイトの構築
ブランドは分ける。運用は分けない
/solutions/brands/

店舗情報サイトの構築
店舗が増えても、管理を増やさない
/solutions/stores/

代理店・販売店サイトの構築
本部の情報を、各社のサイトへ
/solutions/dealers/

多店舗採用サイトの構築
求人の更新を、店に返す
/solutions/recruit/

更新担当者が多いWebサイト
更新する人が増えても、崩れない
/solutions/many-editors/

本部と現場の両方が更新するWebサイト
本部と現場、それぞれの持ち場で
/solutions/hq-field/

担当者が変わっても回るWebサイト
担当者が変わっても、回る
/solutions/handover/

顧客との接点

会員サイト構築
会員の行動が、一人の記録になる
/membership-site-development/

製薬企業の医療従事者向け会員サイト
医師の行動が、一人の記録になる
/doctor-engagement/

取引先ポータルの構築
相手によって、見せる情報を変える
/solutions/partner/

申請・受付ポータルの構築
紙とメールの往復を、Webに移す
/solutions/application/

セミナー運営サイトの構築
募集から参加者管理まで、つなげる
/solutions/seminar/

資料ダウンロードサイトの構築
資料を渡して終わりにしない
/solutions/documents/

二重入力をなくすWebサイトの構築
Webで受けて、基幹へ流す
/solutions/no-retyping/

情報量とページ数

大量製品サイトの構築
製品が増えても、ページを作らない
/solutions/products/

1000ページを超えるWebサイト
1000ページを、1か所で直す
/solutions/large-site/

毎月大量にページが増えるWebサイト
増えるページを、定型で受ける
/solutions/growing-site/

同じ情報を複数サイトに載せるWebサイト
載せる場所が増えても、直すのは一度
/solutions/one-source/

2 できること /features/

9つの機能領域です。仕様の詳細は機能リファレンス（全127本・1機能＝1ページ）にあり、機能名から直接開けます。

直すのは一度ですむ（CMS） 情報が増えても、直すのは一度 /features/cms/

一つの情報を使う場所が多いサイトほど、writeWiredのCMSは向いています。製品情報や資料は、ページにも、メールにも、外部のシステムにも出ていきます。コンテンツを文章ではなくデータとして持つ作りなので、出口が増えても、修正は一か所で済みます。

共通部品は一か所で直す
複数のページから参照される共通コンテンツを登録し、修正を一括で反映します。使用中の参照元も一覧で確認できます。

公開中のページを止めない
作業用の複製を編集し、適用日時を指定して差し替えを予約できます。

過去の内容に戻せる
出力した時点の内容をメモ付きの版として残し、過去の版を読み込んで戻せます。

CSVで一括登録・更新
CSVでコンテンツを一括登録・更新できます。テスト取込で結果を事前に確認してから取り込めます。

ブロックで組む・フォームで揃える
自由に組み上げるブロック編集と、決められた項目を埋める定型編集を、ページごとに使い分けられます。定型の項目は表示のためだけでなく、制御にも使われます。

機能リファレンス コンテンツをつくる｜ブロック入力 ・ フォーム入力（定型編集） ・ 他のコンテンツからのコピー ・ プリセットの一覧 ・ プリセットの登録 ・ メールコンテンツ ・ ライブラリ管理 **コンテンツを管理する**｜コンテンツの検索と一覧 ・ コンテンツのCSV取込 ・ コンテンツ基本設定と掲載期間 ・ 外部確認URL ・ 公開中コンテンツの編集（作業用保管） ・ ステータス変更履歴 ・ コンテンツ変更履歴 **共通部品でまとめて直す**｜組み込みコンテンツ ・ サイトフォーム入力 **届け方を選ぶ**｜動的出力 ・ 静的出力 ・ ヘッドレス配信（API） ・ 全文検索 **サイトとディレクトリ**｜ディレクトリ一覧 ・ ディレクトリ内のコンテンツ一覧 ・ ディレクトリの設定 **AIと書く**｜ChatGPT Completionの実行 ・ ChatGPT学習ログ **統治と権限**｜コンテンツ管理権限 ・ テンプレート管理権限 ・ ステータス変更履歴 **この業務の道具箱**｜クイックメニュー ・ マイクイックメニューの登録 ・ マイパネルの編集 ・ グローバルメニューの登録 ・ 作業ボックスの一覧 ・ 作業ボックスの登録 ・ バッチ一覧

問い合わせを対応につなぐ（フォーム） 問い合わせや申込を、その後の対応までつなぐ /features/form/

フォームで受け付けた後の仕事が多いサイトほど、writeWiredのフォーム管理は向いています。届いたデータには、対応状況・送ったメール・届いた返信・サイト内の行動が同じ画面で紐づきます。一覧の見え方はクエリーとリストを組み合わせてビューとして定義する作りなので、業務ごとの画面を設定で作れます。

受け付けて終わりにしない
1件の問い合わせに、対応状況・対応履歴・送信メール・届いた返信が紐づきます。

行動も検索条件になる
フォームの項目に加えて、メールへの反応（開封・クリック）やサイト内の行動で問い合わせを絞り込めます。

一覧は業務ごとに定義する
クエリー（条件）とリスト（表示項目）を組み合わせてビューとして保存します。CSV操作の可否もビュー単位で決めます。

条件のままメールを送る
絞り込んだ条件を保ったまま一括送信へ進み、送信対象の一覧を送信前に確認できます。

問い合わせた人の足取りが見える
閲覧ページ・滞在時間・流入元を、時系列で確認できます。

機能リファレンス 問い合わせを受ける｜入力フォームの一覧 ・ 問い合わせデータの一覧と検索 ・ 問い合わせの詳細と対応履歴 ・ 自動返信メール **返す・送る**｜問い合わせへのメール送信 ・ 一括メール送信 **1件を追いかける**｜問い合わせの送信履歴 ・ 問い合わせ単位のアクセスログ ・ メール開封ログ（問い合わせ） ・ URLクリックログ（問い合わせ） ・ 問い合わせの受信メール **自分の見方をつくる**｜ビューの一覧 ・ クエリーの一覧 ・ リストの一覧 ・ ビューの設定 ・ クエリーの設定 ・ リストの設定 **データを出す・預かる**｜問い合わせ・会員データのCSV入出力 ・ 問い合わせデータの出力設定 ・ 問い合わせ管理権限 **この業務の道具箱**｜クイックメニュー ・ マイクイックメニューの登録 ・ マイパネルの編集 ・ グローバルメニューの登録 ・ 作業ボックスの一覧 ・ 作業ボックスの登録 ・ バッチ一覧

会員情報を活かす（会員）　会員の情報を、眠らせず次の一手につなげる

/features/customer/

会員にまつわる記録が多いサイトほど、writeWiredの会員管理は向いています。属性だけでなく、サイト内の行動・送ったメールへの反応・届いたメールまで、1人の会員に紐づきます。会員は属性・行動・メールへの反応のどれでも絞り込めて、絞り込んだ条件のままメール送信へ進めます。

1人にすべてが紐づく
アクセスログ・送信履歴・開封とクリック・届いたメール・フォーム入力履歴を、会員の詳細から確認できます。

行動で会員を絞り込む
フォームの項目に加えて、オーディエンスフィルターやMAステップ、メールへの反応でも絞り込めます。

条件のままメールを送る
絞り込んだ条件を保ったまま一括送信へ。本文にはメールテンプレート型のCMSコンテンツやプリセットを貼り付けられます。

CSVで移せる・戻せる
会員データをCSVで出力し、登録・更新で取り込みます。テストモードで結果を事前に確かめられます。

見せる範囲を人ごとに決める
会員フォームごとの操作の可否・ビューの閲覧範囲・メールの閲覧範囲を、ユーザー単位で設定できます。

機能リファレンス 会員を知る｜会員の一覧と検索 ・ 会員の送信履歴 ・ 会員のアクセスログ ・ 会員のメール開封ログ ・ 会員のURLクリックログ ・ 会員のフォーム入力履歴 ・ 会員の受信メール **会員に届ける**｜会員へのメール送信 ・ 会員への一括メール送信 ・ 送信メールの登録 ・ 送信対象の一覧 **データを整える・預かる**｜会員フォームの一覧 ・ 問い合わせ ・ 会員データのCSV入出力 ・ 会員データの出力設定 ・ 顧客管理権限 **自分の見方をつくる**｜ビューの一覧 ・ クエリーの一覧 ・ リストの一覧 ・ ビューの設定 ・ クエリーの設定 ・ リストの設定 **この業務の道具箱**｜クイックメニュー ・ マイクイックメニューの登録 ・ マイパネルの編集 ・ グローバルメニューの登録 ・ 作業ボックスの一覧 ・ 作業ボックスの登録 ・ バッチ一覧

メールの反応を見る（メール）　送ったメールが、誰にどう読まれたかまで

/features/mail/

メールを送った後まで追うサイトほど、writeWiredのメール配信は向いています。配信の結果は宛先ごとの開封・クリックまで記録され、届いた返信は同じ画面の受信ボックスに入ります。配信に失敗したアドレスは自動でマークされ、以後の送信対象から外れます。

送った後が残る
宛先ごとの開封日時と、クリックされたURLを、メール単位で確認できます。

返信は同じ画面に届く
受信ボックスで未読・返信済みを管理し、相手の登録内容を見ながら画面から返信できます。

失敗は自動で外す
配信失敗のアドレスを検知してマークし、以後の送信対象から外します。

ひな形に差し込む
メールテンプレートに、会員や問い合わせの項目を差し込みタグで埋め込めます。

配信の種類が一覧に並ぶ
自動返信・予約配信・繰り返し配信が同じ一覧に並び、行ごとに配信状況と開封・クリックの要約が見えます。

機能リファレンス 送る準備をする｜メールアドレスの一覧 ・ メールアドレスの登録 ・ メールテンプレートの一覧 ・ メールテンプレートの登録 **送る**｜送信メールの登録 ・ 送信対象の一覧 ・ 自動返信メール ・ 問い合わせへのメール送信 ・ 会員へのメール送信 **結果を見る**｜送信メールの一覧 ・ 送信メールの開封ログ ・ 送信メールのクリックログ ・ 分析ビュー（メール） **受け取る・やり取りする**｜受信ボックスの一覧 ・ 受信メールの一覧 ・ 受信メールの閲覧 ・ 受信メールへの返信 ・ 問い合わせの受信メール **配信の土台**｜バウンスメール対策 **この業務の道具箱**｜クイックメニュー ・ マイクイックメニューの登録 ・ マイパネルの編集 ・ グローバルメニューの登録 ・ 作業ボックスの一覧 ・ 作業ボックスの登録 ・ バッチ一覧

データを共有して見る（分析）　散らばった数字を、チームで見られる状態に

/features/dashboard/

数字で説明する機会が多いサイトほど、writeWiredの分析ダッシュボードは向いています。集計の切り口はフォームのフィールドから分析軸として定義する作りで、サイトの数字を自分の業務の言葉で切れます。よく見る組み合わせはビューとして保存し、束ねたダッシュボードを決めた時刻にメールで配れます。

切り口は自分で定義する
フォームのフィールドを分析軸に割り当て、単軸・クロス・フィルタでの使い方を決めます。

見る形を保存する
表示方法・分析軸・期間・絞り込みの組み合わせに名前を付けて保存し、ダッシュボードに置いて使います。

決めた時刻に配る
ダッシュボードの内容を、時刻・曜日を決めてメールで配信できます。

定点で見る
KPIの月次推移を、前月比を含めて集計するビューを置けます。

導線の効率まで見える
問い合わせの送信数を、流入元のコンテンツと突き合わせて確認できます。

機能リファレンス ビューで見る｜分析ビュー（アクセスログ） ・ 分析ビュー（フォーム） ・ 分析ビュー（会員） ・ 分析ビュー（メール） ・ 分析ビュー（KPI） **切り口を定義する**｜分析軸マスタの一覧 ・ 分析軸マスタの登録 **束ねて配る**｜ダッシュボードトップ ・ ダッシュボードの一覧 ・ ダッシュボードの登録 ・ マイダッシュボード設定 **データを出す**｜データエクスポートの実行履歴 ・ データエクスポート設定一覧 ・ データエクスポート設定の登録 ・ システムデータの出力設定 ・ 問い合わせデータの出力設定 ・ 会員データの出力設定 ・ カスタムSQLの出力設定 **生ログにあたる**｜サイト全体のアクセスログ（年月別） ・ 日別アクセスログ ・ コンテンツ単位のアクセスログ **この業務の道具箱**｜クイックメニュー ・ マイクイックメニューの登録 ・ マイパネルの編集 ・ グローバルメニューの登録 ・ 作業ボックスの一覧 ・ 作業ボックスの登録 ・ バッチ一覧

誰が見たかを知る（行動履歴）　誰が、何を見ているのかを知る

/features/trace/

会員になる前の訪問者まで見たいサイトほど、writeWiredの行動履歴分析は向いています。行動を条件に訪問者の集合を作るオーディエンスフィルターは、ブラウザ単位なので会員登録をしていない訪問者も含みます。作った集合は、集計の絞り込みにも、会員の検索にも、MAシナリオの対象にも使えます。

行動で集合を作る
来訪・閲覧・URL・キャンペーン・リファラーなどの条件で訪問者の集合を定義し、決めた間隔で再構築します。

集合の大きさが見える
フィルターごとに、対象になったクッキーの数と構築の状態を一覧で確認できます。

施策に印を付ける
URLに_wwcmpidパラメータを付けるだけで、アクセスログにキャンペーンが記録され、集計の切り口になります。

外のサイトも同じログに
計測スクリプトを置いた外部サイトのアクセスを、本体サイトと同じ画面で集計できます。

集合をそのまま打ち手に
作ったフィルターは、MAシナリオの対象の絞り込みに指定できます。

機能リファレンス 人で追う｜会員のアクセスログ ・ 会員のURLクリックログ ・ 会員のメール開封ログ ・ 問い合わせ単位のアクセスログ **生ログにあたる**｜サイト全体のアクセスログ（年月別） ・ 日別アクセスログ ・ コンテンツ単位のアクセスログ **集める仕組み**｜外部サイト計測 ・ キャンペーン計測 **次の一手へつなぐ**｜オーディエンスフィルターの一覧 ・ オーディエンスフィルターの登録 ・ シナリオのフィルター **この業務の道具箱**｜クイックメニュー ・ マイクイックメニューの登録 ・ マイパネルの編集 ・ グローバルメニューの登録 ・ 作業ボックスの一覧 ・ 作業ボックスの登録 ・ バッチ一覧

動きに合わせて届ける（MA）　相手の動きに合わせて、声をかける

/features/ma/

会員ごとの送り分けを手作業でやっているサイトほど、writeWiredのMAは向いています。条件と処理をステップ図で組み立てると、合致した会員へのアクションが自動で実行されます。シナリオには狙いと打ち手を記録する欄があり、各ステップを通過した人数が一覧で見えます——回した後に振り返れる作りです。

ステップ図で組む
条件と処理をステップとして組み立て、実行開始時間とステータスを管理します。

打ち手は三種類
メールの送信・属性の変更・リコメンドの指定。タイミングは即時・間隔・日時から選びます。

通過した人数が残る
シナリオごとに、一致・不一致・累計の人数を一覧で確認できます。

対象は集合で絞る
クエリーとオーディエンスフィルターで、シナリオの対象者を絞り込みます。

施策づくりにAIを使う
入力テキストを差し込んだプロンプトを実行し、結果を施策の提案として履歴に残せます。

機能リファレンス 次の一手へつなぐ｜オーディエンスフィルターの一覧 ・ オーディエンスフィルターの登録 ・ シナリオのフィルター **動きを自動化する**｜MAシナリオの一覧 ・ MAシナリオの登録 ・ シナリオのアクション **AIに提案させる**｜MA提案 **効果を見る**｜送信メールの開封ログ ・ 送信メールのクリックログ ・ 分析ビュー（会員） **この業務の道具箱**｜クイックメニュー ・ マイクイックメニューの登録 ・ マイパネルの編集 ・ グローバルメニューの登録 ・ 作業ボックスの一覧 ・ 作業ボックスの登録 ・ バッチ一覧

更新にAIを使う（ChatGPT）　生成AIを、日々の更新に組み込む

/features/chatgpt/

AIに渡したい素材がすでにコンテンツとして貯まっているサイトほど、writeWiredのChatGPT連携は向いています。登録済みのコンテンツを知識や素材にして、対話・文章生成・意味での検索に使えます。処理は学習コンテンツとして登録し、実行の結果を履歴で確かめる作りです。

コンテンツが知識になる
学習コンテンツを指定して、サイト上の対話に答えさせられます。応答のふるまいは指示で決めます。

指示とコンテンツで生成する
指示文と対象コンテンツを渡してテキストを生成し、結果を履歴に残します。

意味で探せるようにする
コンテンツをベクトル化して、意味での検索や推薦に使います。ライブラリのPDFも対象にできます。

指示は資産として置く
テキストとプロンプトに名前を付けて保存し、ほかの処理から差し込んで使います。

実行は管理される
学習コンテンツを処理タイプと状態で一覧管理し、結果を履歴で確かめます。

機能リファレンス AIと書く｜ChatGPT Completionの実行 ・ ChatGPT学習ログ **学習コンテンツを育てる**｜学習コンテンツの一覧 ・ 学習コンテンツの登録 **4つの処理タイプ**｜Completion（文章生成） ・ Embedding（ベクトル化） ・ Chat（チャットボット） ・ 入力テキスト ・ MA提案 **この業務の道具箱**｜クイックメニュー ・ マイクイックメニューの登録 ・ マイパネルの編集 ・ グローバルメニューの登録 ・ 作業ボックスの一覧 ・ 作業ボックスの登録 ・ バッチ一覧

既存システムとつなぐ（連携）　すでにある仕組みと、無理なくつなぐ

/features/interface/

writeWiredの外にも仕組みを持っている会社ほど、他システム連携は向いています。データの出入り口はCSVとAPIの二本立てで、出力は設定として登録すれば日次バッチで自動実行されます。まとめて実行した処理は、成功と失敗の件数・エラーの内容まで記録に残ります。

出力は設定にして回す
出力するデータと期間・形式を設定として登録し、日次バッチで実行します。複数の対象をzipに束ねられます。

SQLでそのまま出す
SQLを直接書いて任意のデータを出力できます。期間は#FROM#・#TO#で差し込みます。

コンテンツはAPIで渡す
writeWiredで管理するコンテンツを、外部のシステムからJSONのAPIで取得できます。

CSVは双方向
問い合わせ・会員データをCSVで出力し、登録・更新で取り込みます。テストモードで事前に確かめられます。

流した処理が残る
取込・出力の状態、成功と失敗の行数、誰が流したかまで、バッチの記録に残ります。

機能リファレンス つなぐ口｜ヘッドレス配信（API） ・ カスタムSQLの出力設定 ・ データエクスポート設定の登録 ・ 問い合わせ・会員データのCSV入出力 ・ バッチ一覧 **この業務の道具箱**｜クイックメニュー ・ マイクイックメニューの登録 ・ マイパネルの編集 ・ グローバルメニューの登録 ・ 作業ボックスの一覧 ・ 作業ボックスの登録 ・ バッチ一覧

3 本書について

本書の内容は、生成日（2026年8月25日）時点の公開情報です。writeWiredの製品情報はWebサイト上で随時更新されます。最新の情報は、各項目のリンク先をご覧ください。検討で実際に出る問いには、検討リファレンス（https://writewired.jp/case/ref/）で答えています。

最新版のカタログはこちら
https://writewired.jp/catalog/writeWired.pdf

会社名	STSD株式会社
設立	2005年6月3日
事業内容	writeWired Web DX Suite の開発・運営
Web	https://writewired.jp/
お問い合わせ	https://writewired.jp/contact/